

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表								
事業所名	てらぴあぽけっと新宮中央駅教室							
公表日	2026年 1月 20日							
利用児童数	42人 回収数 25							
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22件	3件	0件	0件	施設自体はそれほど広くないと思うが、時間ごとに参加人数が決められているため、人数に対して必要なスペースは確保されていると思う。	敷地面積の制限がある中で、工夫しながら確保しております。ボール遊び、バトミントン遊びもしております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24件	0件	0件	0件	その日の担当職員が1対1でしっかりサポートしてくれており、その上で他の職員もいるので充足していると思う。	お子さまの数+1をベースに対応し、怪我予防はもちろんのこと、保護者様とのお話の時間も継続して確保していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22件	1件	0件	1件	限られた空間でも集団で過ごすスペースと個別スペースが確保されており、おもちゃやそのほかの物品もわかりやすく整理されている印象。	日々点検を行い、少しでもほころびがあれば早急に対処し、安全な場を提供していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25件	0件	0件	0件	いつも掃除が行き届いていると思う。とても良い環境だと思います。	元気よく楽しく通所が続けられるように、清潔な空間を維持していきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25件	0件	0件	0件	言葉の表出が増え、言葉の理解力等にも気付きながら、指導に活かしてもらっていると思う。	常に観察・分析を行い、お子さま1人1人のプログラムもアップデートしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25件	0件	0件	0件	1つ1つ確認し、ステップアップにつなげてもらっています。	いずれのお子さまも基礎から「今」の段階を把握し、それぞれの段階に応じた支援を行っていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25件	0件	0件	0件	親への聞き取り、子どもの苦手感、それを減らしていく手段を子供に合わせて判断し、支援計画が作成されていると感じる。	職員間でも保護者様、お子さまから知り得た情報を共有し、客観的な内容になるよう努めています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22件	2件	0件	1件	年長児であるため就学を意識した支援や就学に向けた親の動き方などの相談等、支援いただいている。	各領域を意識して面談を行い、計画書を作成し、支援をしております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24件	1件	0件	0件	利用ごとに書いてもらうせらびーの一とにより、何に取り組んでいるのかしっかりと伝わり、計画に沿っていると感じる。	計画書に沿ったセラピーを行いつつ、必要があれば保護者様と相談のうえで適宜重要な変更を考えられる内容も追加しております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22件	1件	0件	2件	日々組んでいる様々なプログラムに加えて、毎月の制作や夏祭りイベントなど、こどもを楽しませるようなプログラムも準備している。	療育が平面化しないように、かつ、前向きに取り組めるようにイベント等を継続して行っています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10件	1件	3件	11件	毎日長時間利用するタイプの事業所ではないため、この点については無くても気にならない。	地域の方との交流がない点もあるため、保護者の方々のご意向を確認しつつ検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25件	0件	0件	0件	入所前に、たくさん時間をとって説明してもらった。	疑問があれば、適宜ご相談いただくようお声がけしています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25件	0件	0件	0件	しっかりと時間を取って説明を受けた。	ニーズを受けて作成しており、ご相談があれば途中でプログラムの変更にも対応しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10件	4件	3件	8件	案内が掲示されているが参加したことがない。相談のチラシをもらった。	相談等の機会があることをもっとわかりやすく提示していき、周知していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	24件	1件	0件	0件	毎回記入してもらっているせらびーの一とや送り迎え時の短時間の会話の中で情報共有出来ている。	要点ではあるが、特記事項などは伝えるように努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18件	3件	0件	0件	半年に1度、しっかりと時間をとての面談や就学に向けての相談をした。	ご要望がありましたら、迅速に対応できるよう日頃より準備しております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23件	1件	0件	0件	どの職員も話しやすい雰囲気。	お子さま、保護者様がリラックスしてご相談いただけるよう、職員研修を大切にしております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2件	4件	6件	11件	保護者同士の交流機会はあれば参加するかと思うが、皆さんも他に毎日通う園などがあると思うので、療育ではその機会がなくて困るということはない。	保護者の方々のご意向を伺いつつ、前向きに検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21件	3件	0件	0件	必要時は見学や相談などできる環境だと思います。	十分な周知に向けて、工夫していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24件	0件	0件	0件	送迎サービスがない分、お迎え時にこども、保護者、職員の三人が揃う時間がができる（コミュニケーションがとれる）が強みと感じます。	情報共有等で時間を要する場合は時間を相互に調整し、納得のいくまでご対応していきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23件	1件	0件	0件	せらびーのーとを使用した丁寧な連絡や月に1回の写真付きのお便り、アプリなど充足していると感じます。	SNS、ブログ、お便りを活用して、なるべく、教室の中身が見えるように発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22件	1件	0件	1件	気になったことは1度もなく、しっかり留意されているのではないかと思う。	継続して管理体制を徹底し、安心していただくよう努めています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16件	1件	0件	7件	入所前に説明がありました。	周知が不十分のため、提示方法等を見直していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16件	1件	0件	7件	行なわれています。	周知が不十分のため、訓練の様子などの発信方法を見直していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21件	1件	0件	2件	安全面で不安を感じることはありません。	安心して通所を継続してもらえるよう、定期的に確認・更新していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20件	1件	0件	3件	これまでに怪我や事故が起こったことはないですし、今後もしあつたとしても速やかに対応してもらえると感じる。	もしもの事態が発生しないよう、ヒヤリハットのチェック、職員間の共有を大切にしていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24件	0件	0件	0件	「てらびあぽけっと行く？」と誘ってきます（笑）。大好きです。	楽しく、安心できる場を作り続けています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22件	1件	0件	1件	楽しく通えているようで、「ぽけっと大好き」と言っています。もちろん！	楽しく療育に取り組めるように工夫をし、スマーズな通所を今後も目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24件	0件	0件	0件	こどもが大好きな場所であること、さらに成長の場であること、親の心配・不安・悩みを受け入れてもらえること、とてもありがたいです。てらびあぽけっとに出会えて良かったです。	ABAを基礎として、日々更新されていく療育方法を職員が学び、よりよい療育を提供していきます。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらぴあぽけっと新宮中央駅教室				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6件	1件	パーテーションで区切っている。各1名ごとに1室の設置の工夫。	少し狭いと感じる時があり、児童の活動量が違うので工夫していく。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6件	1件	園訪問や見学等にも対応できるように工夫している。	日によって足りないと感じる時がある(補助等に入れる職員がいない時がある)
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6件	1件	窓のない部屋は視覚刺激が強い子など、子どもによって部屋を分けています。個室が必要な子には、個室が使えるよう情報共有している。	利用児童の変更に伴って、環境調整が必要を感じる時があるため、早急に対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6件	1件	除菌・消毒に努めている。換気をこまめに行っています。	児童それぞれの行動によってはスペースの不十分を感じるため、物の配置などを工夫していく。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7件	0件	クールダウンも可能な環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7件	0件	更新あれば都度話し合い、目標を明確にしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7件	0件	アンケートや意見などをしっかりと聞いて、職員間で話し合っています。評価表の集計を把握できる機会がある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7件	0件	随機応変に対応できるよう話し合いも行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5件	2件	年に1回、評価を受け、迅速に対応している。	第三者による外部評価を把握していない職員もいるため、迅速に共有する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7件	0件	施設内での研修が月1度行われている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7件	0件	皆で共有しています。支援プログラムが作成されると皆で共有している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7件	0件	担当職員から現状を細かく聞いたうえでニーズを説明している。	計画書作成後に新たにニーズを受けることもあるため、記録に残すことを今後も意識していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7件	0件	担当を設け、1人の児童により詳しい職員を配置することで共通理解が迅速に行われるよう工夫している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7件	0件	確認をしたらサインをするやり方を設けることで、共有を促している。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7件	0件	ツールを用いて客観的な評価ができるようにしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7件	0件	項目に沿ったプログラムなどを作成し、くわしい内容も組み込んでいます。	5領域への理解を研修等で引き続き深めていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7件	0件	プログラムについて話し合って、立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7件	0件	多くの職員の視点を持って、日々、更新内容がないか確認をしている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援を行っているか。	7件	0件	子どもが必要とする支援が組み込まれている。個別では個室で支援し、大部屋では集団活動の支援が行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7件	0件	毎日担当を決め、前回の担当者と必要に応じて話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7件	0件	反省点や気づきは共有し、プログラムを変更したりしながら進めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7件	0件	記録の取り方にも指導をすることで、より客観的な内容になるよう工夫している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7件	0件	半年に1度、行っている。	
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7件	0件	責任者がしっかりと把握し、会議に参加しています。	子どもの担当者が同伴できないケースもあるため、職員配置を検討する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7件	0件	保育園や幼稚園と連携を図っています。	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6件	1件	各所との相談等を通じて、1人1人の支援をどのように行うか、それぞれのや役割の確認も行っている。	事例が少ないため、保護者等へ、移行に向けた支援もできることを伝えていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7件	0件	必要に応じて、サポートブックを作成し、就学に向けて支援している。	
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5件	2件	ケースに応じて情報共有等を行い、助言等をいただいている。	
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4件	3件	定期的に何うことで、日々の様子等をより詳細に観察している。	一緒に活動はないため、検討していく。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7件	0件	送迎時以外でも電話や面談で相談できる時間を作っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5件	2件	家庭でできることは協力をお願いしている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7件	0件	契約時に行ってています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7件	0件	保護者様のお話や気持ち、質問などを時間をとって聞き取りしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7件	0件	1つずつ項目を読み、ご確認を取りながら行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7件	0件	時間を設け、場合によっては回数を分けてじっくりと行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1件	6件		父母の会がないため、検討中である。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7件	0件	迅速に行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7件	0件	SNSやおたよりを通して行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7件	0件	管理を徹底し、指導も行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7件	0件	イラストカード等を使い、意思表示のサポートをしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2件	5件	地域学生等からの見学を受けて入れている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7件	0件	職員会議等で周知をしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7件	0件	避難訓練などの実施を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7件	0件	用紙にて確認を取っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2件	5件		食事は実施していない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7件	0件	定期的な確認を行ない、共有している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6件	1件	避難場所等を自由に閲覧できるところに提示している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7件	0件	ヒヤリハットの記入、共有を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7件	0件	定期的に研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7件	0件	契約時に説明を行い、相談があればすぐ返答している。	

事業所における自己評価総括表

公表				
○事業所名	てらびあぽけっと新宮中央駅教室			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025 年 11月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42人	(回答者数)	25人
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025 年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	送迎時の聞き取りだけでなく、職員から面談の声掛けや、保護者からの面談の希望があった際に、家庭内や園などでの子どもの様子を聞き取り、社会に向けた療育計画を作成、実施している。	家庭ごとに予定があるため、面談の声掛けは定期的にという点を意識している。面談の時間が保護者の時間を圧迫する、ということがないように配慮し、事前に相談内容について簡単にテーマを共有している。急な面談でも対応できるように職員を配置している。	面談の申し込みが口頭のみとなっており、相談のハードルが高いと感じられる可能性もあるため、せらべーのーとを活用した申し込み方法も検討していく。
2	大きな事故・怪我などの前例がない。小さな怪我も保護者に必ずお伝えし、ヒヤリハットの記入、職員間の情報共有を徹底して、大きな事故・怪我の防止を図っている。	子どもがけがをするシチュエーションを想定し、また、過去にあったちょっとした怪我の時の状況を職員間で振り返ることで、日頃から注意すべき点、状況、環境を意識するよう取り組んでいる。	たくさん遊んでいるおもちゃや器具、施設全体も短期間での定期的な確認を行う。職員内で作業分担することで細部までの点検を可能にし、小さなリスクも見逃すことのないようにしていく。
3	利用児童や保護者からの聞き取りによって、細かくニーズを引き出し、それに沿った療育が行えている。	密な情報交換によって日々の療育に変化を加え、子どもの成長スピードに合わせた療育を意識している。	勉強会や職員の個々の学びを促し、知識を増やしていく。自己研鑽を重ね、その内容をまた情報交換し、実践していくことで職員のさらなる成長に繋げていく。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われるごと	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性の偏りが見られる職員配置。	年度ごとによって求められるニーズが異なるため、専門性の偏りが生じてしまった。	新しい人員配置を考慮しつつ、既職員への学びを深め、対応していく。
2	事故・災害等があった際の避難経路や避難場所、連絡手段といった周知が不足している。	掲示や、保護者用の閲覧マニュアルは設置しているが、保護者の滞在時間は日頃短いため、目を通していただく機会が少ない。	面談時に声掛けや、お便りなどを活用してマニュアルなどの認知をしてもらい、詳しい内容は実際に手に取って確認いただくというように、周知に尽力する。
3	ご家族様への相談やペアントトレーニングへの認知は徐々に増えているが、十分とは言えない。	提示方法を工夫して閲覧いただくことは増えたが、実際に相談申し込みをいただいたり、参加していただくことは少ない。自由に閲覧できるように掲示しているだけ、という点が要因と考える。	送迎時に保護者様の余裕がある場合は、口頭でも案内し、保護者様も職員に声をかけやすいように積極的に関わっていく。